

| | | | | | | |
|--------|--------|----------------|----|---|----|----|
| 評価対象年度 | 平成20年度 | 施策評価シート | 政策 | 8 | 施策 | 20 |
|--------|--------|----------------|----|---|----|----|

| | | | | |
|-------------------|----------------------|----------------------|--------------------|------------------|
| 施策名 | 20 生涯を豊かに暮らすための健康づくり | 施策担当部局 | 保健福祉部、農林水産部、教育庁 | |
| 「宮城の将来ビジョン」における体系 | 政策名 | 8 生涯現役で安心して暮らせる社会の構築 | 評価担当部局 (作成担当課室) | 保健福祉部 (健康推進課) |

| | |
|----------------------|---|
| 施策の目的 (目標とする宮城の姿) | 生活習慣の見直しや健康づくりに取り組む県民が増え、メタボリックシンドローム該当者や生活習慣病有病者が減少している。生活習慣の改善と検診の受診を率先して行う県民が増え、がんによる死亡率が減少している。「食育」への積極的な取組により食に対する理解や関心が高まり、バランスの取れた健全な食生活を実践する県民が増えている。新型インフルエンザなどの新たな感染症の流行に備えた感染症危機管理体制が構築されている。 |
| その実現のために行う施策の方向 | バランスの取れた食生活・食習慣の実現、運動習慣の普及・定着など、県民の健康づくりの行動指針である「みやぎ21健康プラン」に示された具体的な目標と方向性に向けた取り組みの推進 がん予防のための普及啓発及びマンモグラフィ検診など効果的で質の高いがん検診の普及の推進 地域や学校、家庭、職場等との連携・協力による宮城の特性を生かした総合的な食育の推進 保健所や衛生研究所、医療機関などの関係機関が連携した防疫体制や医療提供体制、情報提供体制の構築及び感染症集団発生時に備えた隣県等を含めた広域的な連携体制の整備促進 乳幼児期から高齢期まで、それぞれのライフステージに応じた心の健康づくりを促進する相談、指導体制の整備・充実 乳幼児に対するフッ化物の活用やそれぞれの年代や地域の実情に応じた歯科保健体制の整備促進 |

| 事業費 (単位:千円) | 年度 | 平成19年度 (決算額) | 平成20年度 (決算(見込)額) | 平成21年度 (決算(見込)額) |
|----------------|------|-----------------|---------------------|---------------------|
| | 県事業費 | 353,252 | 340,492 | - |

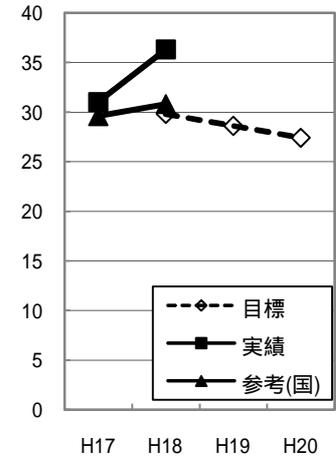
| | |
|---|--|
| 施策に関する社会経済情勢等の状況 (全国・本県の状況、法令・条例・計画等策定の状況等について) | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・国の医療制度改革において、その柱の一つとして、予防を重視した生活習慣病対策を実施することとし、医療保険者による糖尿病との予防に着目した特定健康診査・特定保健指導が義務化され、実施された。 ・国の動向を踏まえ、宮城県ではメタボリックシンドロームに着目し、県民の生活習慣病の一次予防を重視した対策を推進することとし、平成20年3月に改定した「みやぎ21健康プラン」に示された目標と方向性を推進する事業を実施している。 ・がん対策基本法に基づく宮城県がん対策推進計画が策定され、関係機関との協働や情報共有のもと、総合的かつ計画的に推進することとしている。 ・新型インフルエンザなどの新興感染症の発生や天然痘等の再興感染症によるテロ行為のおそれなど、感染症危機管理については、国際的にもその重要性が指摘されており、国では平成21年2月に「新型インフルエンザ対策行動計画」の全面改定や、既存の各種ガイドラインの内容を整理・体系化した「新型インフルエンザ対策ガイドライン」を新たに策定するなど対策を強化した。 ・全国の自殺者数は平成10年に3万人を超え、その後も高い水準で推移しており、深刻な問題となっている。本県の自殺者数は、平成15年に600人を超えてからは、600人台で推移している(平成19年611人)が、自殺死亡率(人口10万人当たりの人数)は、平成15年に全国の自殺死亡率を超えてから、全国より高い水準で推移している(平成19年 県26.2、全国24.4)。 ・宮城県自殺対策計画(平成21年3月策定)を策定し、自殺死亡率を平成28年までに19.4(人口10万対)とすることとしている。 | |

| 県民意識調査結果 | | | | | | |
|---------------------|-----------|--|-------|-------------------------|-------|-------|
| 調査対象年度 (調査名称) | | 平成19年度 (平成20年県民意識調査) | | 平成20年度 (平成21年県民意識調査) | | |
| この施策 に対する 重視度 | 重 要 | 重視の 割合 | 37.0% | 77.5% | 40.7% | 80.6% |
| | やや重要 | | 40.5% | | 39.9% | |
| | あまり重要ではない | | 9.0% | | 7.6% | |
| | 重要ではない | | 1.6% | | 1.8% | |
| | わからない | | 11.8% | | 10.0% | |
| 調査回答者数 | | | 1,731 | | 1,813 | |
| この施策 に対する 満足度 | 満 足 | 満足の 割合 | 8.4% | 42.7% | 9.2% | 44.4% |
| | やや満足 | | 34.3% | | 35.2% | |
| | やや不満 | | 21.7% | | 21.4% | |
| | 不満 | | 6.6% | | 6.8% | |
| | わからない | | 29.0% | | 27.3% | |
| 調査回答者数 | | | 1,706 | | 1,792 | |
| 調査結果について | | <ul style="list-style-type: none"> ・重視度については、「重視」の割合が80.6%であることから、この施策に対する県民期待が高いことがうかがえる。 ・満足度については、「満足」の割合が44.4%と前年度と同程度で推移している。 | | | | |

目標指標等の状況

目標指標等の達成度 A:「目標値を達成している」
 B:「目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と同方向に推移している、又は現状維持している」
 C:「目標値を達成しておらず、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と逆方向に推移している」
 N:「現況値が把握できず、判定できない」

| 目標指標等名(下段:説明) | 評価対象年度 | 初期値 | H19 | H20 | H21 |
|--|----------------|------|------|------|------|
| 1-1 肥満者の割合(30歳以上の男性)(単位:%) 「県民健康・栄養調査」の結果に基づくBMI=25以上の割合 | 指標測定年度 | H17 | H18 | H19 | H20 |
| | 目標値(a) | - | 29.8 | 28.6 | 27.4 |
| | 実績値(b) | 31.0 | 36.3 | - | - |
| | 達成(進捗)率(b)/(a) | - | 82% | - | - |
| | 達成度 | - | C | N | - |

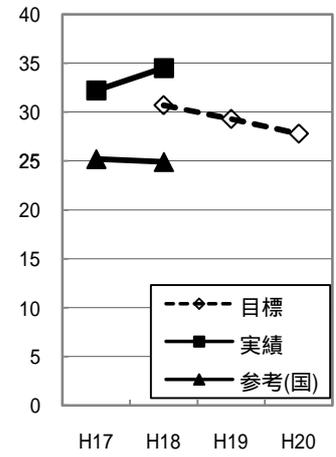


目標値の設定根拠
 ・本県では、肥満度(BMI=25以上)の割合が増加する30歳代以降を対象に取組みを進め、平成22年度を目標年度に、全国平均(25%以下)を目指すもの。

実績値の分析
 ・初期値については、仙台市地域を除くアンケート調査による自己申告で、平成18年度は実測値である。
 ・「みやぎ21健康プラン」では、目標年度(平成22年度)における達成状況を調査し評価することとしているため、各年度毎の実績値は把握できない。

全国平均値や近隣他県等との比較
 ・「国民健康・栄養調査」の結果に基づく全国平均値は、平成17年29.6%、平成18年30.8%であり、肥満者の割合は微増している。本県は、全国と同じ傾向を示しているが、全国平均と比較して高い実情である。

| 目標指標等名(下段:説明) | 評価対象年度 | 初期値 | H19 | H20 | H21 |
|--|----------------|------|------|------|------|
| 1-2 肥満者の割合(40歳以上の女性)(単位:%) 「県民健康・栄養調査」の結果に基づくBMI=25以上の割合 | 指標測定年度 | H17 | H18 | H19 | H20 |
| | 目標値(a) | - | 30.7 | 29.3 | 27.8 |
| | 実績値(b) | 32.2 | 34.5 | - | - |
| | 達成(進捗)率(b)/(a) | - | 89% | - | - |
| | 達成度 | - | C | N | - |

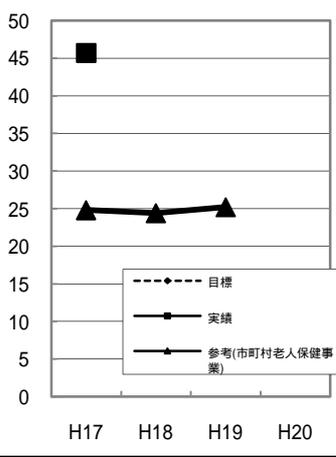


目標値の設定根拠
 ・本県では、肥満度(BMI=25以上)の割合が増加する40歳代以降を対象に取組みを進め、平成22年度を目標年度に、全国平均(25%以下)を目指すもの。

実績値の分析
 ・初期値については、仙台市地域を除くアンケート調査による自己申告で、平成18年度は実測値である。
 ・「みやぎ21健康プラン」では、目標年度(平成22年度)における達成状況を調査し評価することとしているため、各年度毎の実績値は把握できない。

全国平均値や近隣他県等との比較
 ・「国民健康・栄養調査」の結果に基づく全国平均値は、平成17年25.2%、平成18年24.9%であり、肥満者の割合は減少している。本県では、全国平均と比較して高く、また、増加傾向を示している。

| 目標指標等名(下段:説明) | 評価対象年度 | 初期値 | H19 | H20 | H21 |
|---|----------------|------|-----|-----|-----|
| 2-1 がん検診受診率(胃がん)(単位:%) 「県民健康・栄養調査」の結果に基づく割合 | 指標測定年度 | H17 | H18 | H19 | H20 |
| | 目標値(a) | - | - | - | - |
| | 実績値(b) | 45.7 | - | - | - |
| | 達成(進捗)率(b)/(a) | - | - | - | - |
| | 達成度 | - | N | N | - |

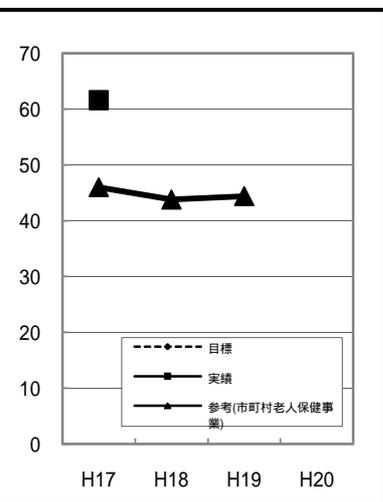


目標値の設定根拠
 ・経年の健康診査受診率の伸びを考慮し、平成22年度を目標(70%以上)に設定しているもの。

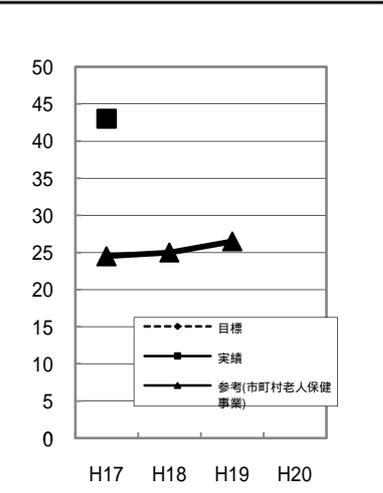
実績値の分析
 ・「みやぎ21健康プラン」では、目標年度(平成22年度)における達成状況を調査し評価することとしているため、各年度毎の実績値は把握できないが、市町村の老人保健事業の胃がん検診受診率は、平成18年度が24.4%、平成19年度が25.2%と若干上昇している。

全国平均値や近隣他県等との比較
 全国では国民生活基礎調査による受診者数を目標指標としているため、受診率としての比較が困難である。

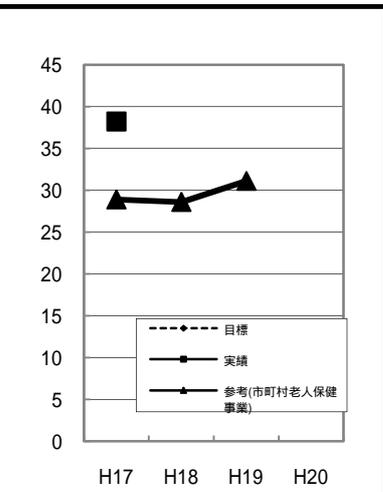
| 目標指標等名(下段:説明) | | 評価対象年度 | 初期値 | H19 | H20 | H21 |
|-----------------|--|----------------|------|-----|-----|-----|
| 2-2 | がん検診受診率(肺がん)(単位:%) | 指標測定年度 | H17 | H18 | H19 | H20 |
| | | 目標値(a) | - | - | - | - |
| | 「県民健康・栄養調査」の結果に基づく割合 | 実績値(b) | 61.6 | - | - | - |
| | | 達成(進捗)率(b)/(a) | - | - | - | - |
| | | 達成度 | - | N | N | - |
| 目標値の設定根拠 | 経年の健康診査受診率の伸びを考慮し、平成22年度を目標(70%以上)に設定しているもの。 | | | | | |
| 実績値の分析 | 「みやぎ21健康プラン」では、目標年度(平成22年度)における達成状況を調査し評価することとしているため、各年度毎の実績値は把握できないが、市町村の老人保健事業の肺がん検診受診率は、平成18年度が43.8%、平成19年度が44.4%と若干上昇している。 | | | | | |
| 全国平均値や近隣他県等との比較 | 全国では国民生活基礎調査による受診者数を目標指標としているため、受診率としての比較が困難である。 | | | | | |



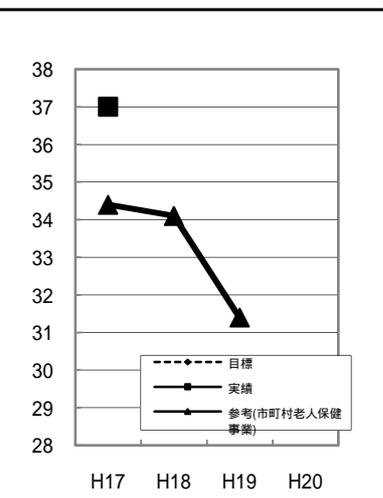
| 目標指標等名(下段:説明) | | 評価対象年度 | 初期値 | H19 | H20 | H21 |
|-----------------|---|----------------|------|-----|-----|-----|
| 2-3 | がん検診受診率(大腸がん)(単位:%) | 指標測定年度 | H17 | H18 | H19 | H20 |
| | | 目標値(a) | - | - | - | - |
| | 「県民健康・栄養調査」の結果に基づく割合 | 実績値(b) | 43.0 | - | - | - |
| | | 達成(進捗)率(b)/(a) | - | - | - | - |
| | | 達成度 | - | N | N | - |
| 目標値の設定根拠 | 経年の健康診査受診率の伸びを考慮し、平成22年度を目標(70%以上)に設定しているもの。 | | | | | |
| 実績値の分析 | 「みやぎ21健康プラン」では、目標年度(平成22年度)における達成状況を調査し評価することとしているため、各年度毎の実績値は把握できないが、市町村の老人保健事業の大腸がん検診受診率は、平成18年度が25.0%、平成19年度が26.5%と若干上昇している。 | | | | | |
| 全国平均値や近隣他県等との比較 | 全国では国民生活基礎調査による受診者数を目標指標としているため、受診率としての比較が困難である。 | | | | | |



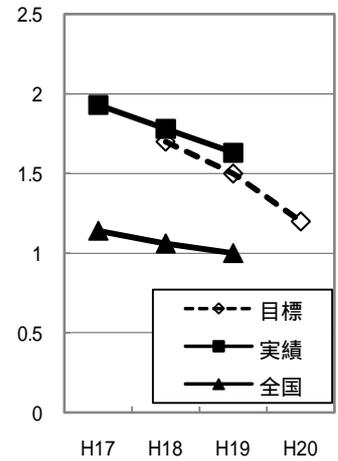
| 目標指標等名(下段:説明) | | 評価対象年度 | 初期値 | H19 | H20 | H21 |
|-----------------|---|----------------|------|-----|-----|-----|
| 2-4 | がん検診受診率(子宮がん)(単位:%) | 指標測定年度 | H17 | H18 | H19 | H20 |
| | | 目標値(a) | - | - | - | - |
| | 「県民健康・栄養調査」の結果に基づく割合 | 実績値(b) | 38.2 | - | - | - |
| | | 達成(進捗)率(b)/(a) | - | - | - | - |
| | | 達成度 | - | N | N | - |
| 目標値の設定根拠 | 経年の健康診査受診率の伸びを考慮し、平成22年度を目標(70%以上)に設定しているもの。 | | | | | |
| 実績値の分析 | 「みやぎ21健康プラン」では、目標年度(平成22年度)における達成状況を調査し評価することとしているため、各年度毎の実績値は把握できないが、市町村の老人保健事業の子宮がん検診受診率は、平成18年度が28.6%、平成19年度が31.1%と若干上昇している。 | | | | | |
| 全国平均値や近隣他県等との比較 | 全国では国民生活基礎調査による受診者数を目標指標としているため、受診率としての比較が困難である。 | | | | | |



| 目標指標等名(下段:説明) | | 評価対象年度 | 初期値 | H19 | H20 | H21 |
|-----------------|---|----------------|------|-----|-----|-----|
| 2-5 | がん検診受診率(乳がん)(単位:%) | 指標測定年度 | H17 | H18 | H19 | H20 |
| | | 目標値(a) | - | - | - | - |
| | 「県民健康・栄養調査」の結果に基づく割合 | 実績値(b) | 37.0 | - | - | - |
| | | 達成(進捗)率(b)/(a) | - | - | - | - |
| | | 達成度 | - | N | N | - |
| 目標値の設定根拠 | 経年の健康診査受診率の伸びを考慮し、平成22年度を目標(70%以上)に設定しているもの。 | | | | | |
| 実績値の分析 | 「みやぎ21健康プラン」では、目標年度(平成22年度)における達成状況を調査し評価することとしているため、各年度毎の実績値は把握できないが、市町村の老人保健事業の乳がん検診受診率は、平成18年度が34.14%、平成19年度が31.4%と若干上昇している。 | | | | | |
| 全国平均値や近隣他県等との比較 | 全国では国民生活基礎調査による受診者数を目標指標としているため、受診率としての比較が困難である。 | | | | | |



| 目標指標等名(下段:説明) | | 評価対象年度 | 初期値 | H19 | H20 | H21 |
|-----------------|---|----------------|------|------|------|-----|
| 3 | 3歳児の一人平均むし歯数(単位:本) | 指標測定年度 | H17 | H18 | H19 | H20 |
| | | 目標値(a) | - | 1.7 | 1.5 | 1.2 |
| | 3歳児歯科健康診査の実施状況(政令市を含む)に基づく本数(厚生労働省調べ) | 実績値(b) | 1.93 | 1.78 | 1.63 | - |
| | | 達成(進捗)率(b)/(a) | - | 96% | 92% | - |
| | | 達成度 | - | B | B | - |
| 目標値の設定根拠 | <ul style="list-style-type: none"> ・本県の3歳児の一人平均むし歯数は、全国的に低いレベルにあることから、フッ化物塗布や歯科健康教育の強化を図ることなどにより、全国平均並みに減少させることを目標にしている。 ・「みやぎ21健康プラン」では、平成22年度までに3歳児の一人平均むし歯数を1本以下することを目標に掲げた。 | | | | | |
| 実績値の分析 | <ul style="list-style-type: none"> ・各種歯科保健施策を講じてきたこともあり、着実にむし歯本数が減少している。 | | | | | |
| 全国平均値や近隣他県等との比較 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度の全国平均は1.00本であり、東北6県の平均値は、1.67本となっている。 ・東北6県の平均値を上回っているものの、全国的にはかなり低い水準にある。 | | | | | |



施策評価(総括)

| 施策の成果(進捗状況) | 評価 | 評価の理由 |
|--|-----------------------|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 目標指標等、県民意識調査結果、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策に期待される成果を発現させることができたか(「目標とする宮城の姿」に近づいているか)。 | <p>やや遅れている</p> | <ul style="list-style-type: none"> 国の医療制度改革の動向を踏まえ、県民の健康増進計画である「みやぎ21健康プラン」の改定やがん対策基本法に基づく「宮城県がん対策推進計画」を策定した上、各種事業を実施するなど「生涯を豊かに暮らすための健康づくり」に向けた体制整備を推進した。 県民意識調査の結果を見ると、「重要」と「やや重要」を合わせた重視の割合が、80.6%と、県民は健康づくりを重要視していることがうかがえる。また、「満足」と「やや満足」を合わせた満足の割合が44.4%と昨年度と同程度で推移している。 なお、県民意識調査では、全体的として、取組に対する重視度が高く、政策に対する期待も大きいことから、県民の満足を得にくく、重視度と満足度との乖離度が小さくない状況にある。 各事業毎の活動指標や成果指標を見ると、実績値はおおむね目標値前後の近い値であり、一定の成果があったと認められる。 「みやぎ21健康プラン」に示した目標を目標指標等にしていることから、3歳児の一人平均むし歯数以外は各年度の実績値を把握することができず、直接的に達成度から評価することが困難である。しかしながら、市町村の老人保健事業における各がんの検診受診率は、横ばい傾向、3歳児の一人平均むし歯数は、減少しているものの目標値には達していない。 以上の県民意識調査や目標指標等の状況から、やや遅れていると判断する。 |

施策を推進する上での課題等と対応方針

| 事業構成について | 事業構成の方向性 | 方向性の理由 |
|---|-----------------------|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 施策評価の結果、県民意識調査結果、社会経済情勢及び事業の分析結果(必要性・有効性・効率性)から見て、施策の目的を達成するために必要な事業が設定されているか。事業構成を見直す必要はないか。 | <p>現在のまま継続</p> | <ul style="list-style-type: none"> 事業分析の結果を見ると、いずれの事業も、みやぎ21健康プランや宮城県がん対策推進計画などに基づく妥当な事業であり、効率的に実施して一定の成果を得ていることから、現在の方向性を継続する。 |

施策を推進する上での課題等 施策が直面する課題や改善が必要な事項等(の事業構成に関する事項を除く。)

- 県民意識調査の認知度の結果を見ると、「知らない」と「あまり知らない」を合わせると46.0%であり、約半数近くの県民に認知されていないことになる。特に、「みやぎ21健康プラン」の推進や新型インフルエンザに対する危機意識などについては、今後十分な啓発普及を図っていく必要がある。
- がん医療の均てん化を促進するには、がん診療連携拠点病院の機能強化と併せ、空白地域のがん診療機能充実促進や拠点病院との診療体制の構築が必要である。
- 感染症等に関しては、専門家からの指導助言や連携、関係機関との調整など体制整備を図る必要がある。

次年度の対応方針 及び への対応方針

- 県民一人ひとりが健康管理への自覚の向上を図るように、関係機関が一体となって啓発普及について効果的に事業を展開する。
- がん診療連携拠点病院については、県全体の整備体制を踏まえて作業を進めていく。また、講演会や相談活動の支援、相談員等の研修を行い質の向上を図り、がん患者等の支援を充実していく。
- 感染症等の危機管理のための機器整備や薬品の備蓄等を行うとともに専門家や大学など関係機関との連携体制を整える。

施策を構成する事業の状況 (事業分析シートより)

| 事業の状況 | | | | | 事業の分析結果 | | | 次年度の方向性 |
|-------|-----------------------------------|-------------------------|--------------------------|------------------------------------|---------|------------|-------|---------|
| 番号 | 名称 (担当部局・課室名) | 事業費 (決算見込、 単位:千円) | 活動の状況 (活動指標) | 成果の状況 (成果指標) | 必要性 | 有効性 | 効率性 | |
| 1 | みやぎ21健康プラン推進事業 保健福祉部・健康推進課 | 8,111 | 運動指導者育成研修受講者数 267人 | 県・市町村が実施する運動指導を受けた人数 34,703人 | 妥当 | ある程度成果があった | 概ね効率的 | 維持 |
| 2 | メタボリックシンドローム対策戦略事業 保健福祉部・健康推進課 | 3,177 | 保健指導者従事者研修受講者数 682人 | 「メタボリックシンドローム予防なび」のアクセス件 9,204件 | 妥当 | ある程度成果があった | 概ね効率的 | 維持 |
| 3 | がん対策総合推進事業(再掲) 保健福祉部・疾病・感染症対策室 | 54,835 | 相談支援センターの相談延件数 8,388件 | 放射線療法及び外来化学療法が実施できるが 7箇所 | 妥当 | 成果があった | 概ね効率的 | 拡充 |
| 4 | みやぎの食育推進戦略事業 保健福祉部・健康推進課 | 2,980 | 養成講座開催数 4回 | 受講修了者数(累計)(人) 104人 | 妥当 | 成果があった | 概ね効率的 | 維持 |
| 5 | 食育・地産地消推進事業(再掲) 農林水産部・食産業振興課 | 3,798 | 食育推進ボランティア育成研修開催回数 7回 | 食育推進ボランティアの登録者数 162人 | 妥当 | ある程度成果があった | 概ね効率的 | 維持 |
| 6 | 感染症危機管理等対策事業 保健福祉部・疾病・感染症対策室 | 237,594 | 肝炎治療実施医療機関の数 135機関 | 肝炎治療実施医療機関における治療実施者数 713人 | 妥当 | 成果があった | 概ね効率的 | 拡充 |
| 7 | 新型インフルエンザ対策事業 保健福祉部・疾病・感染症対策室 | 18,944 | 研修会・訓練実施回数 2回 | 研修会・訓練実施回数 50人 | 妥当 | ある程度成果があった | 概ね効率的 | 拡充 |
| 8 | 心の健康づくり推進事業 保健福祉部・障害福祉課 | 4,129 | 相談支援者数 4071人 | 自殺者数 611人/年 | 妥当 | 成果があった | 概ね効率的 | 維持 |

| | | | | | | | | | | |
|-------|------------------------|---------|----------------------|------|----------------------|-------|----|------------|-------|-------|
| 9 - 1 | 健康教育推進事業(性教育推進事業)(再掲) | 256 | 派遣学校数 | 14校 | 性教育推進専門医等指導者派遣支援事業参加 | 1675人 | 妥当 | ある程度成果があった | 効率的 | 統合・廃止 |
| | 教育庁・スポーツ健康課 | | | | | | | | | |
| 9 - 2 | 健康教育推進事業(学校保健研修事業)(再掲) | 673 | 参加者数 | 464人 | 研修会等参加者の満足した人の割合 | - | 妥当 | ある程度成果があった | 効率的 | 維持 |
| | 教育庁・スポーツ健康課 | | | | | | | | | |
| 10 | 歯科保健対策総合強化事業 | 5,995 | 乳幼児フッ化物集団塗布モデル事業実施市町 | 3市町 | フッ化物塗布実施市町村数 | 22市町 | 妥当 | ある程度成果があった | 概ね効率的 | 維持 |
| | 保健福祉部・健康推進課 | | | | | | | | | |
| 事業費合計 | | 340,492 | | | | | | | | |